

被爆70周年企画 今を生きる被爆建物を巡る学習会を開催しました

丸岡 憲一 (広島市都市整備局営繕課)

(一社) 公共建築協会では毎年11月を公共建築月間として、公共建築の魅力を広く紹介し、その役割や使われ方を一般の方々に知っていただくためのイベントを実施するなど、様々な取り組みを行っています。

広島地区では、今年が被爆70周年という節目の年に当たることから、広島市が中心となって、被爆建物の保存・活用に向けた市民意識の高揚を図ることを目的とした学習会を開催しました。講師として、市民組織「アーキワーク広島」代表の高田真さんをお招きして、被爆建物3施設を巡り、被爆の証人としての歴史的価値に加えて、今回は新たな視点として、建築作品としての美術的・技術的価値について解説していただきました。

■見学施設

1. 山陽文徳殿 (南区比治山町・竣工1934年 築81年・RC造 平屋 約127㎡・爆心地からの距離1.82km)

江戸時代後期に活躍した広島ゆかりの文人、頼山陽の没後100年を契機に建てられた記念堂です。被爆時には損傷しつつも火災は免れたため、建物内部



に花頭窓、格天井、欄間装飾など、貴重な戦前期の和風インテリアが残されています。外観は反りを伴う屋根や頂部装飾など、鉄筋コンクリート造で和のデザインを表現した「近代和風建築」で、建築技術史上貴重な建物です。



©アーキワーク広島 高田 真

2. 旧陸軍被服支廠倉庫 (南区出汐2丁目・竣工1913年 築102年・RC造 3F 約21,700㎡/4棟・爆心地からの距離2.67km)

被服支廠とは軍服・軍靴の製造・調達・貯蔵等を担う軍需工場であり、その倉庫4棟が現存します。外観はレンガで覆われていますが、レンガ造から耐震・



耐火性に優れる鉄筋コンクリート造への過渡期に建設された、国内最古級の鉄筋コンクリート造の建築物です。広島デルタの軍需工場は既にその大半が解体されており、軍都広島がいかに大規模なものであったかを実感できる場所はここをおいて他になく、「広島歴史の重要な一面を体感できる場」として、極めて貴重な遺構と言えます。



©アーキワーク広島 高田 真

3. 広島大学附属中・高等学校講堂 (南区翠1丁目・竣工1927年 築88年・RC造 2F 約507㎡・爆心地からの距離2.69km)

建築家丹下健三も在籍した旧制広島高等学校の講堂として建築されました。縦長の窓や列柱等の古典様式を取り入れた鉄筋コンクリート造の建築物で、現在も学校の行事の場として生徒たちに愛され利用されています。



©アーキワーク広島 高田 真

戦後、この講堂は焼け野原の中の貴重な文化施設として、学生たちの演劇活動や音楽活動を支えました。建物内部には美しい漆喰装飾など丁寧な仕事ぶりが見られ、戦前期の広島の文化水準の高さを知ることができる優れた遺産と言えます。

■まとめ

当日は激しい雷雨にも関わらず、ほぼ定員に近い方に参加をしていただき、被爆建物に対する市民の方々の関心の高さが伺えました。参加者の皆さんからは、「今回の学習会を通じて被爆した建物に新たな視点で向き合うことができ、守っていかなければならない貴重な資源であることが改めて実感できた」、などの感想をいただきました。被爆者が少なくなる中で、被爆の実相を伝える建物を守ることは、被爆体験を継承する上で重要であり、保存・活用に向けた一層の取り組みが必要だと感じました。

MONTHLY 建築士
No.110

IROSHIMA



MONTHLY 建築士 HIROSHIMA No.110 平成28年3月1日発行

発行 公益社団法人 広島県建築士会 〒730-0052 広島市中区千田町3丁目7番47号
TEL (082)244-6830(代) FAX (082)244-3840 URL <http://www.k-hiroshima.or.jp/>
e-mail : info@k-hiroshima.or.jp

発行人 会長 元廣 清志
編集人 広報委員長 神岡 千春

表紙写真について

WORLD TRADE 株式会社

- 監修／(有)アリク デザインスタジオ
- 設計施工／株式会社 ケーシーエル
- 所在地／東広島市西条町下三永
- 構造規模／鉄骨造 地上2階
- 延床面積／848.48㎡
- 用途／事務所・店舗・自動車修理工場
- 竣工／2015年12月

東広島に本社を置く、車両パーツ・トラックの買い取り・修理・販売をしている社屋の新築。この度の新築に伴い、陸運局認定車両整備工場と塗装ブースも整備した。大型トラック・大型トレーラーも取り扱っており、海外輸出も多い。スリランカにも支店があり、社名（ワールドトレード）の通り、東広島から世界へ技術発信していく会社である。

建屋外観はカーテンウォールとミラーガラスを採用し、存在感のあるファサードとした。熱効率を考慮し、カーテンウォール部もペアガラスを採用。海外からの来客もあるため、全体として内部からも開放感のある空間としており、事務所から全体が見渡せるプランとしている。



入会金免除キャンペーンを実施します!!

広島県建築士会会員増強推進チーム

●新規加入者

入会金3,000円 免除

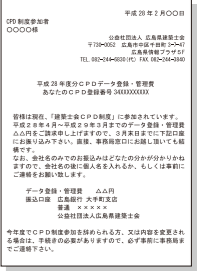
期間：平成 28年 3月～8月の6カ月間

是非、この機会を利用して当会へご入会下さい！
また、入会希望の方にご紹介下さい。

CPD管理料・28年度(次年度)分のお支払いについて

建築士会CPD制度に参加されている皆様には、ハガキで28年度データ管理料のお支払いのお願いをさせていただきます。3月末日までにお支払いいただきますようお願い申し上げます。

*参加内容に変更がある方、27年度でCPD制度への参加を取り止める方は必ず事務局までご連絡下さい。



CPD認定プログラム(3～4月の広島県内実施分)

2月10日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
3/12	東日本大震災から5年～被災地復興活動から学ぶ「わたし達ができること」	2	広島県建築士会呉地区支部	0823-25-0230
3/15	コンクリートの基礎的知識と技術要点研修会(後編)	6	インターウェブ	099-812-0677
3/19	技術家の説明責任～温故知真～	2	広島県建築士会尾道支部	0848-23-5300
4/ 5	徹底解説!最新事例からみる評価点アップのポイント	6	インターウェブ	099-812-0677
4/ 8	明日から役に立つ!失敗より学ぶ技術者倫理	6	インターウェブ	099-812-0677
4/23	最新データ徹底分析!土木工事の死亡災害事例と事故防止の進め方	6	インターウェブ	099-812-0677

**「より早く・より公正に・より親切に」をモットーに
より確かなサービスを提供します**

- 指定確認検査機関
- 登録建築物調査機関
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 住宅省エネラベル適合性評価業務

- 登録住宅性能評価機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 調査診断業務(耐震診断等)
- 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)評価業務

- 指定構造計算適合性判定機関
- 長期優良住宅認定審査業務
- 耐震診断判定業務
- すまい給付金関連業務

株式会社 ジエイ・イー・サポート

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-8-6F
TEL: 082-836-3300 FAX: 082-228-8201
支店: 東京
e-mail: mail@jesupport.jp

URL <http://www.jesupport.jp/>

地域だより
呉

「ガストピア呉」での ガス体験会

呉地区支部女性委員会 福島 仁美

昨年11月29日(日)、夏にリニューアルされたばかりの広島ガスショールーム、「ガストピア呉」で体験会を開催しました。

体験の目玉は、IHクッキングヒーターとガスコンロの違いが体験できる比較実演と、Siセンサーコンロ体験クッキングです。IHとガスの機能性や使い勝手、安全性などの違いを、実際の食材を使って比較しましたが、いずれにもお手入れ、コスト、安全面などのメリット、デメリットがあり、どちらを選択するかは、ライフスタイルや重視するポイントによって異なります。将来、夢のマイホームを建てる時はどちらにしようかと、妄想してしまいました。

体験クッキングでは、Siセンサーコンロやグリルの機能を活用し、ご飯、オムレット、鶏肉の塩麹焼きの3品が出来上がりました。使い慣れた機能に加え、新しい使い方も知ることができた上、まるで自分の料理の腕が上がったような気になり、嬉しく楽しい体験会でした。

竹中工務店

守る、
創る、
思いやる、
ビルへ。

災害から人々の暮らしを守る。
エネルギーを創り、分けあう。
都市を、そして地球を思いやる。
これからのビルはこうじゃないとね。

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

株式
会社

ティーエス ハマモト

一級建築士事務所 ISO9001 認証取得

大規模修繕工事
各種環境対応事業
調査 診断 設計 施工

〒731-0135 広島市安佐南区長束4丁目16-2
TEL 082-238-1511 FAX 082-238-1513

中通商店街でのミニリース作りWS

呉地区支部女性委員会 福島 仁美

昨年12月23日(水)、毎年この時期に開催している「中通ワークショップ実行委員会」主催のワークショップに、協賛団体として参加しました。

今回は、(公社)日本フラワーデザイナー協会の佐々木恵子さんを講師に招いての、ミニリース作りのワークショップです。各回15人を定員としていましたが、申し込みが多く、全3回で約50数人の参加となりました。会場には、建築士会の活動を紹介したパネルも掲示させていただきました。

講師から材料と道具の使い方を説明していただき、工作開始。先生のご意向で完成形のサンプルを置かず、子どもたちの思うままにオーナメントを取り付けてもらいました。子どもたちの作るリースはどれも個性的で、大人の想像を超えた材料の使い方には驚かされました。また、リースに添えるメッセージカードにも熱心に取り組み、最後にリボンでラッピングです。それぞれの思いの詰まったリースが完成しました。

商店街の和菓子屋さんから子どもたちに、クリスマスプレゼントとしてお菓子の引換券を用意していただきました。今回は難しい道具を使った工作でしたが、大きな怪我也なく、楽しいワークショップになりました。



呉けんちくセミナー 「外国人観光客にゆだねる建築」

まちづくり委員会 橋田 勇人

1月27日(水)、広島国際大学呉キャンパスにて、「外国人観光客にゆだねる建築」と題し、工学部住環境デザイン学科の砂本文彦准教授にご講演いただきました。



2020年の東京オリンピックによる外国人観光客の増加を見据え、建築はどう対応すべきかを、1930年代の取り組みと、1940年に予定されていた東京オリンピックへの対応を振り返ることで、改めて考えてみようという、興味深い内容でした。

1930年代には外国人観光客の誘致のため、鉄道省国際観光局の主導により日本紹介のガイド冊子が作成され、その観光ルート上に和風ホテルが多く造られました。当時の外国人観光客は、アメリカ、イギリス、ドイツからが大半であり、アジア各地の植民地から観光客に来てもらうことや、日欧間を船と鉄道で結び、日本を国際鉄道網のハブとして、大量の外国人を呼び込む壮大な計画があったという話に驚きました。「下関～プラハ」の鉄道船舶連絡運輸切符も発行されていたそうです。

当時の入国者数は年間2万人程度で、年間2千万人に迫る今とは大きく状況が違います。現在は国の主導によりホテルを建築するという方法ではなく、民間の力の利用や民泊等の規制を緩和する方向に進んでいます。しかし、安易な規制緩和が大きな火災等を招いたという過去の事例から、火災・防災計画や近隣等とのトラブルも防ぐよう考えておくことが非常に重要なことも教えていただき、本当に実り多いセミナーとなりました。

被爆70周年企画展「戦後の復興と広島東洋カープの歩み」を開催しました

渡田 賢治 (広島市都市計画課)

広島市では被爆70周年に当たり、昨年7月31日～8月10日に企画展を中区袋町「ウェンディひろ・まちプラザ」にて開催しました。復興のまちづくりとカープが共にあった歴史を知っていただくもので、映像企画、パネル企画等を行いました。ここでは、その歴史のいくつかをご紹介します。



■広島平和記念都市建設法成立—1949年

原爆で焼け野原になった広島。人口の急激な減少などにより財源が不足し、復興が思うように進みません。そうした状況の中、多くの関係者の努力によって、“この街を世界の恒久平和を象徴する平和記念都市として復興・建設する”ことを目的とした、“広島平和記念都市建設法”が成立し、国からの援助の増大などにより、復興のまちづくりが大きく進み始めました。

■広島カープ誕生の理念—1949年

同じ1949年に“原爆で廃墟と化した広島に健全なスポーツを与えて精神的な復興の一助にする”という理念の下、“広島にもプロ野球チームを”との動きが起こり、広島城の別名である鯉城からとった“カープ”が誕生。翌年1月に、現・広島県庁付近において石本監督や選手による結成披露式が行われました。

■広島平和記念都市建設計画始動—1952年

広島平和記念都市建設法の理念に基づき、新たな都市づくりの計画として“広島平和記念都市建設計画”を決定。この計画では、平和記念公園、広島市中心部を東西に貫く幅100メートルの道路、南北に流れる河川の美しさを生かすための河岸緑地、そして市街地の土地区画整理などが定められています。この計画により、平和記念都市の建設が本格的に始まります。

■広島市民球場の完成—1957年

カープのホームグラウンドは現・西区観音新町にあり、ナイター設備が無いため、デーゲームばかり。そうした中、建設資金の寄付などの後押しもあり、都心にナイター球場“広島市民球場”が完成。それは球団経営の改善、そして将来的なチーム強化へと繋がります。

■平和大通りの完成—1965年

広島平和記念都市建設計画において、広島市中心部を東西に貫く幅100メートルの道路を建設することになり、住宅難の時にこのような広い道路が必要なのかといった非難もありました。しかし、平和記念都市広島のシンボルとしての役割を期待されていたことから整備は進められ、1965年に“平和大通り”は完成に至ります。

■原爆ドームの永久保存の決定—1966年

原爆ドームは“あの日の惨事を思い出したくない”“未来への警告として保存すべきだ”との存廃論議が長い間続き、放置されたままでした。そして自然崩壊の危機にさらされた時、ドーム保存の声は急速な高まりを見せ、市議会は1966年全会一致で永久保存を決定。それは、“世界平和を訴え続けるシンボル”へと変わっていきます。

■カープ悲願の初優勝!!—1975年

カープは、球団創設1年目は勝率2割台の最下位。初めて勝率が5割を超えたのは11年目、初のAクラス入りは19年目でした。そうした中、外木場義郎投手の活躍や山本浩二選手の成長もあり、1975年に球団創設26年目にして悲願の“初優勝”を達成。平和大通りで優勝パレードを行い、30万人のファンが歓喜に酔いしれました。

今回の企画展では、「広島の復興と東洋カープの歩みを今まで知らなかった」子どもたちが熱心に見入る姿もありました。復興を遂げた広島のみちやカープをさらに盛り上げていくことに繋がったと思います。

指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録建築物調査機関(中国地方整備局長登録第1号)

認定低炭素住宅 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 住宅省エネラベル

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすっぴんカバーしています

Energica
ハウスプラス中国住宅保証株式会社
http://www.jutakuhosho.com/

広島本店：広島市中区国泰寺町1-3-32 国泰寺ビル1階
TEL：082-545-5607 FAX：082-545-5608
広島北支店：広島市安佐南区西原6-9-40-7 TEL：082-832-3310 FAX：082-875-4330
福山支店：福山市西深津町1-10-1 TEL：084-973-9143 FAX：084-973-9146

安全で安心な住まいづくりをサポートします。

- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット35 適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査

◆ 住宅かし担保責任保険

住宅保証機構(株) (まもりすまい保険)
(株)住宅あんしん保証 (あんしん住宅瑕疵保険)
(株)日本住宅保証検査機構 (JIO わが家の保険)
(株)ハウスジューメン (ハウスジューメン住宅かし保険)
ハウスプラス住宅保証(株) (ハウスプラスすまい保険)



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関
株式会社 広島建築住宅センター
URL: http://www.hkjc.co.jp

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974